



令和4年度
公開研究会



山梨大学教育学部附属幼稚園

令和4～6年度 附属4校園共同研究

本園研究主題

しなやかに伸びていく子どもを育む保育



しなやかに伸びていくとは？

その子らしい多様な育ちの過程

本園が取り組んできた

子どもの声から始まる保育

子どもたち一人ひとりの声を保育者が聴き取り、行われる保育

➡子どもたちがその子らしく
しなやかに伸びていくことを
保障する保育

1年次 その子らしい活動のプロセスからみとる 非認知の育ち

<h3>「しなやかに伸びていく」姿のみとり</h3> <p>複数年(2~3年)にわたる 保育記録から 育ちの過程をみとる</p>	<h3>事例検討 (2例)</h3> <p>担任自身による検討 + カンファレンスでの 多角的検討</p>	<h3>非認知という 視点の導入</h3> <p>その子らしい多様な育ちの 過程をみとり 理解するための視点として</p>
--	---	---

非認知とは？

どう注目？

- 保育や教育で注目
- 「非認知的能力」
- 学校教育では、学習を促進・維持する側面(意欲など)に関心

どんな意味？

- 元々は「学力以外の何らかの能力」の意味
- 現在統一された定義はなく、さまざまに使用



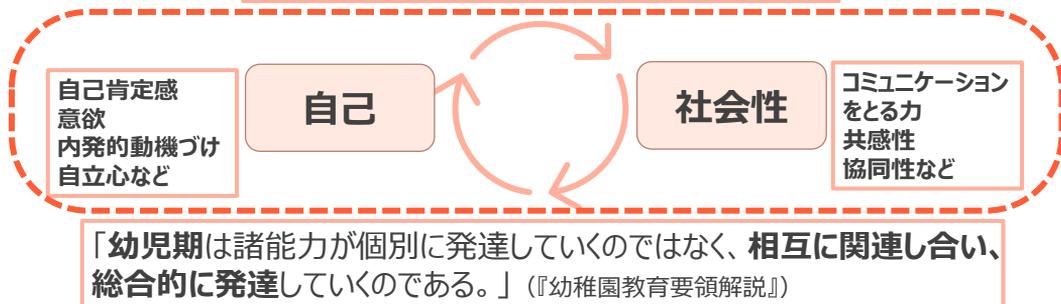
幼児期の教育と非認知能力との関連

「子どもが**発達早期**から然るべき**養育や教育**を受け、『**非認知能力**』なるものの**土台を形成**しておくことが、**その後の一生涯に亘る**心と身体**の健康や経済的安定性**なども含めた**社会的な適応**の一つの**鍵となる**」(遠藤, 2022)

遠藤利彦. 「非認知能力」なるものの発達と教育. 発達, 170, 2-8. 2022

本研究における非認知

「『**非認知能力**』を、**自己と社会性**に関わる**心の性質**であると再定義」(遠藤, 2022)



- **自己と社会性**に関わる心の性質である「**非認知能力**」
- 非認知の**様々な面**(能力に限定されない)が**相互に関連し合い**、「**その子らしくしなやかに伸びていく**」過程をもたらす

遠藤利彦. 「非認知能力」なるものの発達と教育. 発達, 170, 2-8. 2022
文部科学省. 平成29年告示 幼稚園教育要領解説. フレーベル館. 2018

1年次 研究目的

子どもの2～3年間の保育記録を事例としてまとめ、しなやかに伸びていく姿と「非認知」の育ちをみとる。

事例から、子どもがしなやかに伸びるために保育において必要なことを見出す。

現在までの進捗状況

「しなやかに伸びていく子ども」の事例を作成



カンファレンス

(1事例3～5回程度)



担任の考察
+
非認知という視点の考察



協議の視点

① 2つの事例からみとるA児、B児の「しなやかな伸び」

② しなやかに伸びていく子どもを育むために必要な保育環境とは

※保育環境とは、保育場面における保育者を含む人・もの・空間を指す

